

# ほとけの子だよい



す いろ  
好きな色にぬってみてね！



ゆっくりたのしんでね。  
むずかしかったら、おとなの人と  
いっしょによんでみてね！

# はなし ほとけさまのお話

いぬい あつし  
乾 淳

(京都教区少年連盟理事)

## 「いつもありがとう」

数年前、わたしはある事故で膝の靭帯を切る大けがをしてしまいました。3週間ギブスをして松葉杖の生活でした。その間、今まで普通に出来ていたことも出来なくなり、毎日「なんでこんなことになってしまったのだろう。あの時もう少し気をつけておけばよかったのに」と、くやしい気持ちと、なきな気持ちでいっぱいになり、ひとりで悩む日々を過ごしていました。



3週間がたった時にギブスが取れて少し足を地面につけるようになりました。少しの段差も1段ずつ手すりにつかりながら上れるようになりました。その時感じたことは、「手すりってこんなにありがたいものなんだ。手すりが自分の体重を少し支えてくれるおかげで段差を乗り越えるこ

とができた」という手すりに感謝するふしづな気持ちです。



けがをする前は私にとって手すりがあっても無くても関係のない存在でした。しかし、足を怪我してから手すりは私が支えてくれる大切な存在だということに気づきました。また、家族や友人の「大いじょうぶ?何かできることがあれば言ってね」などのやさしい言葉も心の支えとなりました。いろんなもの、いろんな人に支えられながら生きているのだと気づかされました。ふだんは気づかなくて、あたりまえと思っていることで、わたしの周りにはさまざまな支えがあり感謝するべきものがたくさんあります。



それに気づいて感謝できることはとても素敵なことだと思います。

阿弥陀さまという仏さまは、わたしのいのちを支えてくれる仏さまです。「いつでも、どこでも、どんな時でも決してあなたを見捨てず、あなたのそばからはなれることはありません。あなたの気持ちはすべてわかっていますよ。」といつも呼び続けてくださっています。



けがをしてつらい時、ひとりで悩んでいましたが、阿弥陀さまのお姿と向き合うと、ひとりではなかったことに気づかれます。阿弥陀さまの大いなお心に支えられていたのです。だから「いつもありがとう」という気持ちを大切にしたいです。

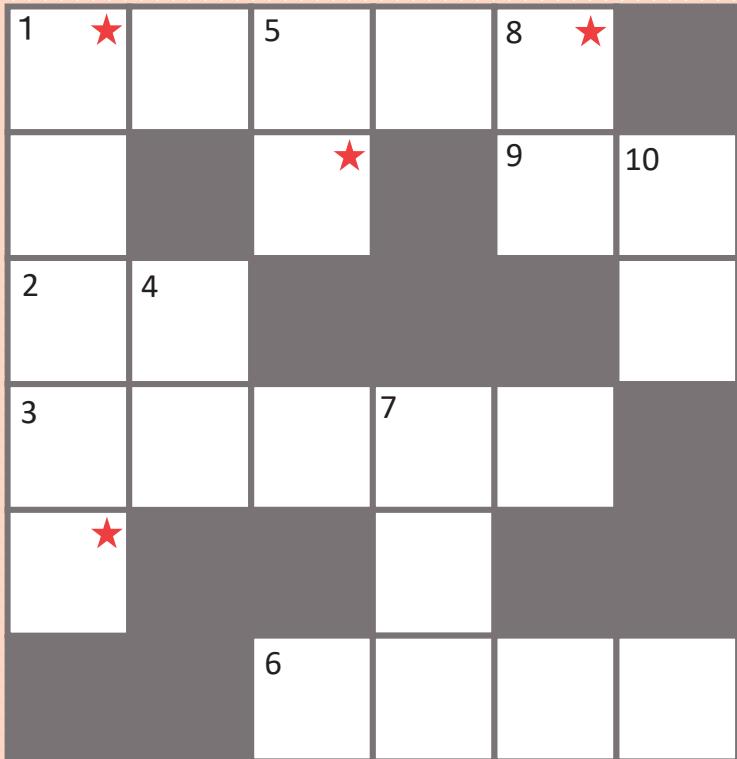
いつも  
ありがとうございます！





「よこ」のカギのこたえは「よこ」にかけてね。

↓  
「たて」のカギのこたえは「たて」にかけてね。



# クロスワードパズル

した  
下の「カギ」をよんで、  
しかくをうめてね。  
そして★のしるしの  
もじをならべると、  
こたえができるよ。



こんかい

今回の「カギ」はぜんぶ なぞなぞ になってるよ！

## ↓たてのカギ

- 1 かぞくでいちばんおとしものをしないひとはだあ～れ？
- 4 いつもまつぱかりのきは？
- 5 「とびら」のまんなかをたべてしまったどうぶつは？
- 7 ねているときにかけて、おきているときにかかないものは？
- 8 はしればはしるほどきれるものはなあ～に？
- 10 たいようがかくれている日におおくでてくるムシは？



## →よこのカギ

- 1 いつもスピードをだしすぎておこられているどうぶつは？(うみにいるよ)
- 2 なにをたべてもおいしいというどうぶつは？
- 3 おくさんがはいっているおいもはな～んだ？(おくさんのべつのいいかたがあるね)
- 6 8つのボールでするスポーツは？  
はな
- 9 いつもきいてばかりいる花は？



パズルの中の★にはいるもじならべると、動物のなまえになるよ

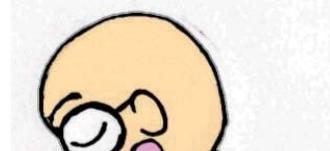
どうぶつ

こたえ





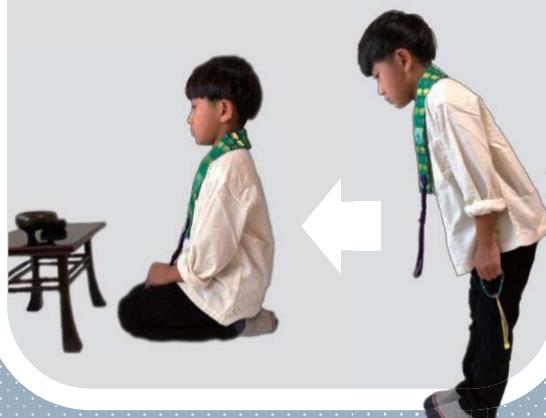
しょうこう  
しかた  
**お焼香の仕方**



こう  
お香をたくことをお焼香といいます。かおりの  
よいお香をたいて、阿弥陀さまのおこころを思  
いながらお参りしましょう。

**1**

こうろ 香炉の前に進み  
まえ すす  
で かる  
出て軽くおじぎ  
すわ  
をして座ります



**2**

こうごう 香盒のふたをとって右はし  
みぎ  
にかけ、お香を一回だけつ  
かい  
まんで、そのまま香をたき、  
こうごう  
香盒のふたをもどします。



**3**

あみだ 阿弥陀さまに向かい、  
がっしょう らいはい  
合掌・礼拝をします。



**4**

しず 静かに立ちあ  
た  
がって、軽くお  
じぎをして、  
もとのところに  
かえ 帰ります。



またこの「お焼香の仕方」

発行日:2021(令和3)年10月

発行者:浄土真宗本願寺派京都教区少年連盟

問合せ先:京都教区教務所少年連盟担当

〒600-8334

京都市下京区油小路通花屋町上ル西若松町249

TEL(075)371-6981 FAX(075)361-1522